

道徳学習指導案

指導者 中村 臨太郎

- 1 日 時 平成29年 7月4日(火) 2校時
- 2 学年・組 第5学年 花組 31名
- 3 主題名 個性を伸ばす <内容項目 個性伸長 4(A)>
- 4 資料名 百六十八センチのスーパースター、ロベルト・カルロス
- 5 ねらい 自分の特徴を知って、短所を補い良い所を積極的に伸ばそうとする心情を育てる。

6 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

「特徴」とは、他人と違った特有の性質、性格などである。その特徴を良い方向へ発揮すればそれは「長所」となる。「長所」を伸ばすためには、自分の持っている良い特徴を絶えず良い方向へ発揮し続けなければならない。物や金銭的な豊かさに惑わされることなく、自分の特徴の良さを、個性として認めることが大切になってくる。そこで、自分らしさを発揮しながら、自分の能力を最大限に発揮し、長所を伸ばしていこうとする態度を育てていきたい。

児童の実態

本学級の児童は、趣味や特技は持っているが、自分らしさや自分の良さを自覚できず、他人をうらやんだり、劣等感を持ったりする児童が少なくない。また、学習面や運動面等で良い成績を残すことが長所だと考え、別の面からの長所に目を向けることができない児童も多い。自分らしさを見つめ、進んで良さを伸ばそうとする意欲を引き出し、ねらいとする価値を感じ、個性伸長の態度を育てていきたい。

(2) 資料について

本資料は、大きく4つの場面に分けることができる。

1. 貧しい生活の中、仕事と勉強、サッカーをこなすロベルトが、才能を認められ、クラブチームにスカウトされる。
2. クラブチームに入れたものの、体が小さいことから、弾き飛ばされたり試合に出してもらえなかったりして、怒りでボールを蹴飛ばす。
3. 父の言葉を思い出し、速さとパワーを身につけるために、練習後も納得のいくまでボールを蹴るようになる。
4. プロのサッカー選手になり、ブラジルの代表選手になる。

7 教科・領域との関連

- ・総合的な学習「目指せ、たなっこリーダー」

8 考えを深め合う授業の工夫

- ・めあてを示すことで、価値への方向付けを図る。
- ・授業の流れを示し、最終的に、自分と向き合って考えられるようにする。

9 本時の展開

	学習活動		主な発問と予想される児童の反応	教師の働きかけ	準備物・評価
導入	・価値への方向付けを図る。	一斉	自分の長所と短所を挙げましょう。 ・運動が得意。 ・計算が遅い。 ロベルト・カルロスという選手を知っていますか。	・自分は長所が多いか、短所が多いかを黒板にネームプレートで示させる。 ・ロベルト・カルロスの紹介をする。	・ネームプレート ・ワークシート ・タブレット ・プロジェクトター
展開	・資料を読む。	一斉	めあて：個性について考えよう。	・仕事をせず、クラブでサッカーをするということの決意の重さを理解させる。	・挿絵 ・発問カード
	・短所しか見れないロベルトの気持ちを考える。	一斉	力任せにボールを蹴飛ばした時のロベルトの気持ち ・なぜ、自分は背が小さいんだろう。 ・このまま終わってしまうのか。 ・努力をしても、無駄なのか。	・短所しか見れていないロベルトの気持ちを理解させる。	
	・自分を見つめ、自分の長所を伸ばすことができたロベルトの行動、気持ちについて考える。	グループ 個別 一斉	なぜ、背の低いロベルトがブラジルの代表にまでなることができたのか。 ・父の言葉を思い出したから。 ・応援しているみんなの顔を思い出したから。 ・人一倍練習をしたから。 ・くやしさをばねにがんばったから。 ※背が低いという短所にもめげず、父の言葉を思い出し、人一倍練習をして、誰にも負けないスピードとパワーを身につけ、長所を磨いていったから。	・自分を見つめ、長所を伸ばすことができたロベルトの素晴らしさを理解させる。 補助：では、他の選手は頑張っていなかったのか。	・道徳ノート ※自分の特徴を知って、良い所を積極的に伸ばそうとする心情を持つことができたか。 <発表・道徳ノート>
	・他人の長所について考える。	一斉	先生の話から、個性について考えましょう。 お互いに個性について書き合いましょう。 ・〇〇さんは、笑顔がステキでクラスの雰囲気を良くしてくれる。	・短所を長所に変えることについて話す。 ・他人に自分の長所を認めてもらうことで自己肯定感を高めさせる。	
終末	・振り返りを書き、交流する。	個別 一斉	今日の授業で感じたことを道徳ノートに書きましょう。	・自分の長所に気づき、それを伸ばしていこうという気持ちを持たせて振り返りを書かせる。	※実践への“そっとした決意”をもたせる。 <道徳ノート>

10 評価の視点

(1) ねらいに関して

自分の特徴を知って、短所を補い良い所を積極的に伸ばそうとする心情を育てる。

(2) 授業の工夫に関して

- ・めあてを示すことで、価値への方向付けを図る。
- ・授業の流れを示し、最終的に、自分と向き合って考えられるようにする。